

【評価基準】

A：十分な効果を発揮した B：概ね効果を発揮した C：部分的に効果を発揮した  
D：効果を発揮したとはいえない

番号	項目	事業の効果	委員意見
①	感染防止対策の徹底	A 新型コロナウイルス感染拡大に対し、マスクや消毒液等の感染対策用品の購入・配布、トイレや洗面台などの水回りを中心とした施設改修などを令和3年度に引き続き実施した。 特に小中学校や幼稚園、児童クラブを中心に感染防止対策を行ったことで、子どもたちや保護者の安全・安心を確保することができた さらに、ワクチン接種を促進するための高齢者へのタクシー助成券の交付や、コロナとの同時流行を防ぐためのインフルエンザ予防接種への助成を行った。 これらの感染対策の徹底により、感染拡大防止につなげることができた。	・全体を通して様々な分野に細やかに支援が行き届いていると感じる。 ・コロナ交付金の交付が終了した後も、移住定住の推進や観光振興など継続した取り組みが必要な分野については、他の財源を活用しながら引き続き事業を進めてほしい。
②	市民・事業者への支援	A ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経済的に打撃を受けている生活困窮世帯や子育て世帯に対し支援金を給付したことで、生活支援につながった。また、給食食材費の値上がり分を管理者に助成したことで、保護者の学校給食費の負担増を防止することができた。 ・原油価格・物価高騰の影響に直面する事業者や農業者に対し各種助成を行ったことで、経営継続の一助とすることができた。	・クーポン事業については、市民や事業者から大変好評いただいている。
③	地域経済の活性化	A ・コロナ禍において原油・物価高騰の影響を受けた市民の負担軽減と事業者支援のため、第5弾の生活応援クーポン事業を実施したことで、地域経済の回復に寄与することができた。 ・テレワークの広がり等を背景に地方への関心が高まったことを受け、本市への移住者支援を積極的に行ったことで、地域の活力向上につなげた。 ・令和3年度に引き続き、映画やTV番組、CM等の撮影を支援・誘致する「フィルムコミッション事業」を実施し、コロナ禍で減少した観光客の回復の一助とすることができた。	・その他、特に意見なく事業の成果を認めていただいた。
④	教育に対する支援	B ・授業支援アプリやタブレットドリルを導入したことで、ICT教育の更なる推進につながった。 ・市内小中学校に大型掲示装置（電子黒板）を設置したことで、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の臨時休校や登校自粛時においてもリモートで学習が実施できるようになり、コロナ禍における学習機会の確保を図ることができた。 ・ICT支援員を配置し、教職員や生徒のサポートをし、ICT教育を推進するとともに、タブレットに関するトラブル等に迅速に対応することができた。	
⑤	デジタル推進	B ・コロナ禍における保育士の就業環境を整えるため、Wi-Fi環境を整備し、公立保育園の登降園管理や保護者連絡等の事務の非接触を可能とする保育支援システムを導入することで3密（密接・密集・密閉）を回避することができ、感染拡大防止につながった。 ・デジタルに不慣れな方を対象にスマートフォンの基本操作やLINEアプリに関する講座を開催したことで、非対面によるコミュニケーション方法が可能となり、不要不急の外出を減少させる等、感染防止につながった。 ・庁内業務の電子決裁を推進したことで、職員間の接触機会が減少するとともに、手続きのデジタル化による業務効率の向上が図られた。	
⑥	その他の事業	B ・コロナ禍における行動制限や外出自粛の影響で、体力の低下や健康状態の悪化が懸念されたことから、ウォーキングを促す健康ポイント事業の実施し、市民の健康増進を図った。 ・出産を控えた妊婦の不安やストレスを軽減するため、ミニコンサートや小児科医による講演会を開催し、精神的な安らぎを醸成した。 ・コロナ禍における不当な差別をなくすため、人権フォーラムを開催し、人権尊重の啓発を図った。	